ReWireの使い方

ReWireって何?

ReWire とは、複数のアプリケーションを接続し同期させる事が出来る機能です。複数のアプリケーション間で Audio/MIDI の 情報をやりとりしながら同時にそれらのアプリケーションを操作する事が可能になります。

例えば、Logic に Renoise を接続すれば、Logic で曲の大部分のアレンジをしながら Renoise でドラムだけを打ち込んだり出来 ます。また、Renoise に Reason と Ableton Live を繋いで、Renoise で曲をアレンジし Reason の内蔵シンセをコントロール、 Live でループ・プレイを楽しむ、なんて事も可能です。ReWire に対応したアプリケーションがあれば、様々な組み合わせで トラック・メイキングを楽しむ事が出来ます。

ReWire には次の2つのモードがあります。Renoise はどちらにも対応しています。

ReWire Master

これは一般的に「ミキサー・アプリケーション」と呼ばれ、他の "ReWire スレーブ" をコントロールする立場となります。 ReWire マスター は独占的にサウンドカードを使用します。ReWire スレーブは、マスターを通してオーディオをルーティング しなければなりません。一度に複数のアプリケーションをスレーブとして使用する事は出来ますが、マスターは1つです。

ReWire Slave

こちらは「シンセ・アプリケーション」と呼ばれ、ReWire マスターによってコントロールされる立場です。スレーブはマスターから MIDI信号を受信し、マスターへとオーディオ信号を送信します。また、スレーブからもMIDI信号を送信する事が可能なので、 マスターの再生位置を変更したりする事も出来ます。

Renoise はマスターでもスレーブでも使用可能なので、他のどんなソフトとも(ReWire対応ソフトなら)接続する事が出来ます。

ReWire アプリケーションの起動・終了の手順

起動の手順

まず最初に、ReWireマスターとなるソフトを起動します。 そして ReWireスレーブを起動します。

終了の手順

まず ReWireスレーブを終了します。 そして ReWireマスターを終了します。

重要!! 製作中の曲をセーブする場合、その曲をマスターとスレーブ両方のアプリケーション内で個別にセーブする 必要があります。さらに、その曲をロードする場合も、マスターとスレーブでそれぞれ個別にロードしなければなりません。 ReWire はオーディオとMIDIのルーティングだけを扱います。曲やパッチのデータを自動的にセーブする事はありません。

つまり基本的なワークフローは次のようになります。

- 1) ReWireマスターを起動 (以前のプロダクトをロード)
- 2) ReWireスレーブを起動(以前のプロダクトをロード)
- = = = トラック・メイキング = = = 3) ReWireスレーブ側でプロダクトをセーブし、スレーブを閉じる
- 4) ReWireマスター側でプロダクトをセーブし、マスターを閉じる

Renoise を ReWire マスターとして使う方法

まず最初に、他に ReWireマスターとなるソフトが起動していない事を確認してください。そして Renoise を起動します。 すると自動的に Renoise は ReWireマスターとなります。 "Track DSPs 画面" で "#ReWire-In Device" を選択し、どのトラックでもいいのでロードします。センド・トラックにロードするのがいいかもしれません。

Track DSPs	Automation	Instrur	nent Settings	Song Settings				Pattern Editor	M	1ixer
More Search	8	Active	Off Mute			XAPV	#R	eWire-In Device (A B 🗏 🕨 Init	.)
 Stereo Expander #Routing 	· · ·	Name	S01			Device	۱	Select a ReWire Dev	vice	•
#Line-In Device		Routing	🔹 🕨 Master	Track	▼	Ghannel	4 •	None		
#ReWire-In Device	•	Panning	Image:		Center	Input	L	R L+R		
#Send Device #Send Device		Volume			0.000 dB	Panning	4 ۲			Center
*Automation Device		Width	4 • •		0.000 %	Volume	4 •		····· 0	.000 dB
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									

"#ReWire-In Device" パネルに "Device" という欄があるので そこをクリックすると、あなたのパソコンにインストールされている ReWireスレーブのリストが表示されるので、どれか1つ選んで ください。大抵の場合、そのスレーブは自動的に起動しますが、 もし起動しない場合は手動でそのスレーブ・ソフトを立ち上げて ください。

	None
	ACID Pro 7.0
	FL Studio
-	ORION
	Reason Adapted for Korg
	Reason Demo
\times < > \checkmark	Vocaloid2 In Device Difference
Device	Select a ReWire Device
Channel	▲ None

これだけです。スレーブからのオーディオ信号は "#ReWire-In Device" を通して Renoise に供給されます。もし Renoise の 再生ボタンを押せばスレープも同時に再生が始まりますし、再生ポジションを変更すればスレープも追従します。また、 スレーブ側で再生ボタンを操作した場合、Renoise もそれに追従します。既にこれらのソフトは、互いに同期し合っています。

もし、同じスレーブからの別のオーディオ・バスを扱いたい場合は、"#ReWire-In Device" をもう1つロードし、 同じスレーブ・違うチャンネルを選択してください。こうすると、同じスレーブから複数のバスを介してオーディオ信号を個別に 扱う事が出来ます。

もしスレーブがMIDIインプットを備えていれば、Renoiseの "Instrument Settings"の MIDI Properties 欄にリスト表示 されます。これらを(普通のMIDIインストゥルメントと同じ 様に)使う事で、例えば Renoise内で Reasonの 内蔵シンセを扱えます。

Track DSPs		Automation	Inst	rument Se	ttings	Sor	ng Set
		MIDI Properties					
Device	ReWire:	Reason Demo - S	ubTractor	1 🔻	NNA	۹.	Cut
Channel	▲ ► N/	A Bank	↓ ►	Off	Loo	р	None
Program	∢ ► of	f Basenot	e ∢ ⊧	C-4	Inte	rpolate	Cubi
Delay	 		0 m	s	Am	olify	4 Þ
Duration	< > ==		INF		Pan	ning	4 Þ

ReWire接続されたシンセ(Reason等)のオートメーション:

Renoise内で、ReWire MIDI インストゥルメントをロードした場合、"*MIDI-Control Device"を使ってそのシンセのパラメーターを オートメーションさせる事が出来ます。もしそのシンセが対応しているなら、"*MIDI-Control Device"のパラメーター・リストに 各パラメーター名が表示されます。

Track DSPs	Automation	Inst	rument Settings	Song S	ettings			Patte
More Search	8	5		11DF Contro	l Devie	ce	(R B ◀ ▶ Init*)	Т
#Line-In Device #ReWire-In Device	-	•	Pitchbend	on Off	PB	○	Reason Demo - Subiractor 1	1
#Send Device #Automation *Automation Device		er) dB	(Pressure) Mod Wheel	On Off	CP CC	•	↓ 127 ↓ ↓ 0	1
*MIDI-Control Devic	e)%	Filter Freq	•	сс	•	••	
		•						_

Renoise を ReWire スレーブとして使う方法

まず最初に、ReWireマスターとして使いたい音楽ソフトを 起動します。その後に Renoise を起動させてください。 Renoise は「ReWireスレーブとして起動しますか?」という 確認メッセージを表示しますので、"Yes" をクリックして ください。

(もしこの確認メッセージが出ない場合は、まずマスター側のReWire設定欄で Renoise を選択してください。 そうすると大抵の場合、自動的に Renoise がスレーブとして立ち上がると思います)



多くのマルチトラック・シーケンサーでは、Renoise を "オーディオ・インプット" として選択します。詳しい設定方法は マスター・ソフトの説明書を読んでください。

ー旦マスターのミキサーに Renoise をルーティングしてしまえば、後は自由に操作出来るはずです。Renoise のオーディオ信号 はマスターへと送信されます。スタート、ストップ、再生位置変更等の操作も両ソフトで同期します。

Renoise を ReWire マスターまたはスレーブとして使う場合の注意点

いくつかの ReWireスレーブ・ソフトでは、トランスポート操作に制限があるかもしれません。 ReWireマスターでしかトランスポート操作が出来ない場合があります。 例えば、いくつかの ReWireマスター・ソフトは、Renoise(スレーブ)からのテンポ・チェンジやループ・チェンジ、 ポジション・チェンジを認識しません。これは Renoise の欠陥ではなく、マスター・ソフト側の ReWire対応状況による制限です。

Renoise デモ版の ReWire の機能制限

Renoise のデモ版の ReWire には2つの機能制限があります。

- 1) Renoise を ReWireマスターとして使う場合、スレーブ側のアウトプットは最初の2チャンネル(マスターチャンネル) しか使えません。
- 2) Renoise を ReWireスレーブとして使う場合、定期的なヒスノイズが挿入されます。

Link

- ReWire対応音楽ソフトの一覧表(Renoiseとの相性調査)